

オーストラリアの旅 (14)

花尾省治

岡山県の乳牛頭数も1万頭を突破、集約酪農地域は勿論その他の地域においても酪農が伸びてきている。乳牛を飼うため自給飼料を得るのに草をつくることに関心が深まってきたことは何よりよろこばしいことである。蒜山の二川地区のように急傾斜地を切り開いて堂々としてグリーンベルトの緑地帯を築きあげている。

オーストラリアの酪農は恵まれた気候と広い土地をもっている関係でもあるが濃厚飼料にたよらず草で飼うことに徹しており日本の酪農家に見られるように濃厚飼料を多くやって少しでも多く搾りたいといった考えは毛頭もっていない。

農事試験場でも草の試験研究を大きくとりあげておりビクトリア州農事試験場では多年生牧草の混播について試験を行っていた。

混播牧草として

ライグラス	12ポンド
オーチャード	5～6ポンド
ホワイトクローバー	1～2ポンド
ストロウベリークローバー	1/4ポンド

等に重点をおいている。

プライヤーグラス(2～3ポンド)(1エーカー当)は冬期に成長するものとして価値があるとされている。又余り肥えていない土壤にはサブタレミアクローバーを播けば土地を肥やすしホワイトクローバーの最もよい条件をつくるという結果がでてい

散水(灌漑)量と回数の試験

散水	ライグラス	オーチャード	ホワイトクローバー	サブタレミアン
3インチの水6回	7.9	26.7	38.2	14.2
4 " 6回	5.1	18.5	60.6	10.9
5 " 6回	6.4	17.4	55.9	16.6
6 " 6回	10.9	14.4	64.5	8.8
6 " 5回	7.8	21.7	45.4	16.2
6 " 4回	9.4	18.7	27.7	31.4
6 " 3回	8.9	16.7	24.7	33.4
3 " 8回	7.5	15.3	62.5	11.0

散水と肥料試験の結果

- ① 肥料として過磷酸塩はどの肥料よりも又配合肥料よりも優っている。
 - ② 灌漑した牧草は非常によくでき過磷酸塩を施した区は高い平均収穫を得ている。
 - ③ 磷酸塩を施さず窒素や加里肥料をやったものは無肥料区よりよい結果がでていない。
- 牧草については無灌漑草地の改良。採食試験(ブロック交替採食)。採食移動能力等についても試験調査を行っている。

A区	10日対	放牧地5日採食さし	5日休む
B区	20日対	5日 "	15日 "
C区	30日対	5日 "	25日 "
D区	40日対	5日 "	35日 "



「オーストラリアの共進会」シドニーで行われたオーストラリアの共進会の規模は想像以上の大きなものであった。羊を除いた肉牛、乳牛、豚、馬、犬等の出品家畜で常設設備の実に広大な建物で周囲は高い壁でかこまれ入口は大野球場の入口と同じで、場内に夜間照明のできるけい駕用コースとスタンドもある

岡山畜産便り1957.10

といった豪盛さである。畜舎は鉄骨づくりで房も通路もゆったりとしているし、審査場は各家畜別に数多くつくられ美事な芝生でできている。

共進会の期間は3月23日から4月3日までの12日間という長い共進会でオーストラリア農民に（町の人に見物も多い）とって何物にもかえがたい楽しみとしている行事である。畜産共進会に附随して果物等の農産物各州別審査も行われその他馬術大会、農機具、家具類、花等の展示、フランス館、陸海軍館、子供の遊覧場等博覧会的な催を兼ね銀行、郵便局、電話局の出張あり、家族連れでゆっくり共進会を楽しんでいた。入場料は5シル（200円）であったが今までにない最高の人出であった。（場外で競馬の開催（レーシング及トロツェング）ボクシング等も行っている。）

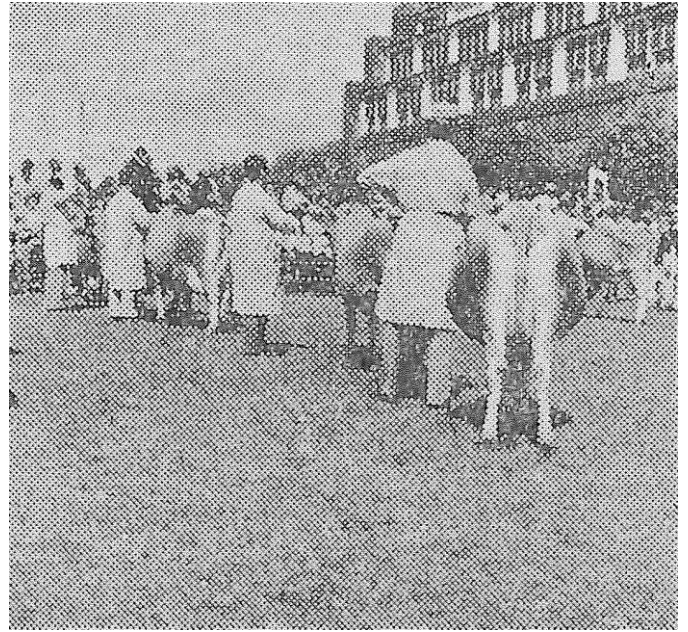
出品家畜の種類は数多く出され見本市場の感じがした。乳牛＝イラワラショートホーン、乳用ショートホーン。レッドポール。ホルスタイン。エアシャー。ジャージーゲルンジー

肉牛＝肉用ショートホーン ヘレホード。アバーデンアンガス。デボン。

犬＝ケルピー コリー コツスパニール。

馬＝アラブ。サラブレッド。アングロアラブ。その他

豚＝タムワース。大・中ヨークシャーバークシャー。エセックス。その他



審査は審査員3名補助2名位で6～7頭位を牽運動（円型）を行い、これが終われば整列さし青、赤、白、黄のテープを頸にたらし、1、2、3、4と等級をつけ無ぞうさに見えるがなごやかな中に厳粛さを保っていた。チャンピオンを更に優良牛の中から選抜され巾広のテープを頸にかけられる。場内にせり市場も幾つかあり審査の終わった肉牛は次々と売れてゆく。せりは日本と同様せり太夫が一段高台に2尺棒をもって高声にせりあげる。この市場に入るにも入場料金を支払される。オーストラリア人にとって乳、肉は貴重な食糧である関係非常に関心が深い一流新聞も大部分を共進会記事にさいているのを見ても国の一大行事であることが伺われる。綿羊共進会について2ヶ月後単独に行われることになっていた。